

三保折戸 MCF^{かわら} 瓦版 (第20号)

『三保折戸 MCF 瓦版』は、弊社清水工場周辺でペルフルオロオクタン酸（PFOA）が検出された件に関して、三保地区連合自治会、静岡市と弊社の三者が正確な情報を共有し、綿密な連携により、適切な対応を検討することを目的として2023年11月に発足した、「三者連絡会」の内容についてご報告しております。第20号は、2026年2月18日に開催された、第19回三者連絡会での報告内容についてご報告いたします。第19回三者連絡会では、弊社より2026年度の弊社による浄化対策実施計画についてご説明いたしました。2026年度も、引き続き真摯に対応し、諸対策に全力を挙げて取り組んでまいります。

第19回三者連絡会(2026年2月18日開催)

1) 静岡市による環境モニタリング状況報告

静岡市より定期モニタリング調査結果（2025年12月～2026年1月）が報告されました。

▼定期モニタリング調査結果について（静岡市ホームページに掲載）

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s5382/s012235.html>



2) 弊社による浄化対策実施状況および今後の計画

● 三保雨水ポンプ場の PFOA 低減対策

三保雨水ポンプ場における PFOA 低減対策として、2025年11月に周辺雨水排水管の再調査及び追加補修を実施しました。また、2024年7月に三保雨水ポンプ場に設置した中型活性炭塔（2基）に加え、今後の対策として、浄化能力増強のため大型浄化設備の設置を計画しています。

● 弊社構内の対策

2024年9月に弊社構内に設置した中型活性炭塔（2基）に加え、拡散防止対策として「対策井戸」（地下水を汲み上げて PFOA を浄化する「揚水井戸」と、PFOA を含まない清浄な水を地下に注入する「注水井戸」の組み合わせ、「瓦版 第16号」で報告済み）の設置工事を2026年後半から開始し、効果を確認しながら増設していく計画です。

